

有機農業技術のつぼ

作物名	水稲
対応技術の項目	病虫害防除技術
	物理的防除法
	機械的な害虫の払い落とし法

《情報収集先の経営概要等》

当別町 竹田 広和 経験年数 27年（うち有機年数 9年）

経営耕地面積 26.48ha

水稲	9.81ha（うち有機 2.06ha）
麦類	10.57ha
大豆	4.6 ha
ブロッコリー	1.5 ha

労働力 家族2人、パート4人

有機JAS認定の取得状況 平成20年取得（現在は未取得）

問題点

イネドロオイムシによる葉の食害がひどかった

- 従前は、釣り竿を水平に振る手作業で払い落としていたが、防除効果は不十分だった。

対応

機械的な害虫の払い落とし法を工夫した

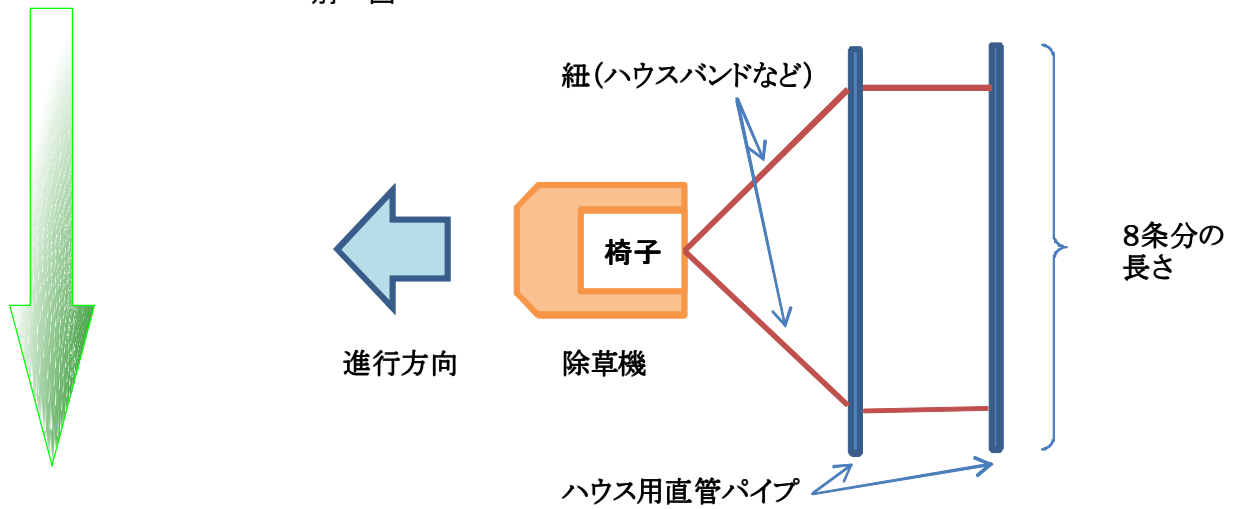
つぼ

- 次のような器具を製作した。
 - ・ ハウス用直管パイプ2本を紐で結び、乗用式除草機の椅子にくくりつけたものを製作。（別図のとおり）
- 除草作業時にこれを田面で引きずることにより、イネドロオイムシを物理的に払い落とす。
 （稲は一時的になぎ倒されるが、すぐに起き上がってくる。）
- 実施時期：6月25日、7月2日
 （一週間間隔で2回実施）



機械除草機

別 図



※ 対応技術活用上の注意点

- ・ ほ場を旋回するときに紐を踏まないように注意する。

成 果

イネドロオイムシによる食害はほとんどなくなった

- ほ場を観察すると、葉には食害痕はあるが幼虫の寄生はわずかであり、払い落とし法の効果は大きい。



食害痕はあるが、幼虫が寄生している株はわずか
(撮影日：7月4日)



食害痕は軽微である
(撮影日：7月23日)